

ストップ地球温暖化!



問合せ
保健福祉課
☎47・8007

古紙リサイクルの必要性

現在、古紙利用率約60%のわが国は、古紙利用先進国と言えるでしょう。しかし、将来のことを考えると、この数字をさらに引き上げていく必要があります。次のことに気を配り、限りある資源の節減と循環型社会の構築にむけて、積極的に取り組むことが重要です。

- ① オフィスから出る紙資源の分別回収
- ② 紙の原料として再利用できないものを取り除く
- ③ リサイクル製品の使用促進

古紙分別マニュアル

1 分別の種類

新聞紙、段ボール、雑誌類（雑誌・チラシ・上質紙等）の3種類に分別します。

2 禁忌品（出してはいけない物）

次のものは出さないようにしましょう。

【紙以外の禁忌品】

プラスチック・ビニール・金属 など
 プラスチック、粘着テープ、ワッペン類、ファイ
 ルの金具、金属クリップ類、フィルム類、
 発泡スチロール、セロハン、プラスチック
 製品、ガラス製品、布製品

【紙の禁忌品】

カーボン複写紙・感熱紙 など

3 古紙の出し方

3種類に分け、紙ひもでもしぼってから、町内会や子ども会などが実施している集団回収に出してください。

4 古紙回収に紙ひもを使いましょう

紙ひもは循環型社会の古紙リサイクルに最適です。

【古紙の回収に紙ひもを使うメリット】

- ☆ビニールひもと違い、ゴミにならず古紙と一緒に溶かして再生される。
- ☆紙ひも自体が再生紙製品で環境にやさしい。
- ☆中身が見えるので異物が入れられにくく、また取り除きやすい。

資源回収奨励金

町では、古紙回収を実施した集落や子ども会などの団体に対して、資源回収奨励金を交付しています。詳しくは保健福祉課まで問合せください。



Q1 なぜ、ビニールひもやビニール袋はダメなのですか？

ビニール製のひもや袋は、紙に再生できないので、すべて「ゴミ」となります。これらは「燃やせないゴミ」として処分されますが、再生するために多くの労力と経費がかかることも、CO₂を排出してしまいます。また、埋立て場所が年々減少してきていることなどから、各自自治体では「ゴミの減量」に取り組んでいます。





Q2 雨に濡れても大丈夫ですか？

新聞古紙等は、水に濡れるとインクが取れにくくなります。また、紙ひもも紙製品であるため、再生しやすく水に溶けやすくなっているため、多量の水に濡れると切れやすくなります。なるべく濡らさないようにしてください。

Q3 紙ひもは結びづらいですか？

ビニールひもに比べれば違和感があるかもしれませんが、ビニールひものようにすべることもなく簡単に結びことができます。

やってみよう！ 簡単紙ひもの結び方

 <p>① 適当な長さに紙ひもを切り、図のように結び輪を作る。</p>	 <p>② 古紙の横方向に紙ひもを回し、①で作った輪の中に通す。</p>
 <p>③ 紙ひもを強めに引き、親指で軽く押さえる。</p>	 <p>④ 図のように輪を作り、その中通してしぼり込む。</p>
 <p>⑤ 縦方向に回し、ひもが逆Y字の形になるまで引く。</p>	 <p>⑥ 中央の結び目にひもをかけ、縦、横のひもが十字になるまで引く。</p>
 <p>⑦ ③・④と同様に親指で押さえながら輪を作り、中に通して結ぶ。</p>	 <p>⑧ 梱包完了</p> <p>簡単！綺麗！</p>

Q4 紙ひもは、ビニールひもに比べて値段が高いのでは？

確かにビニールひもより価格面では高いかもしれませんが、ビニールひもに比べ環境面での問題、リサイクル等にかかる全体的な費用などを考えると断然すべれています。